

市のお金は、どのように活かされたか？

前回の9月定例会で提出された令和3年度会計決算議案については、議員7人が津山市当局に対して質疑を行いました。その後、12月定例会初日に採決を行い、すべての決算議案を認定しました。

なお、決算内容の詳細については「広報津山1月号」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。

三浦ひらく議員

問 不登校、長期欠席が続く子どもたちへの対応について



答 不登校未然防止の観点から、登校支援員を小学校12校に配置し、863万3,000円を執行した。また、学校復帰や不登校の未然防止を行うことを目的として、小学校2校に別室支援員を配置し、人件費127万9,000円を執行した。

河村美典議員

問 燃料費高騰による給食献立、内容への影響は



答 調理用燃料費2分の1の公費負担分は、補正予算を含め必要額を措置している。その結果、給食1食単価に係る燃料費の上昇は僅かとなった。また、食材を変更するなど、栄養士の工夫もあり、影響を最小限にとどめることができた。



秋久憲司議員

問 津山市子どもの貧困対策連絡会議を開催し、意見交換や情報共有をもとにどのような取組がなされたのか



答 ひとり親家庭が養育費の請求を行う際に弁護士費用の一部を補助する養育費確保支援事業や、子どもの居場所を新たに開設する場合にその費用を助成する子どもの居場所づくり促進事業等の事業を創設した。



田口浩二議員

問 市税に関する収入未済額^(※)7,267万5,261円の発生理由は



答 生活困窮や新型コロナウイルスの影響、居所不明によるものなど、市税が収入未済となっている理由は様々である。各年度末における累計額は年々減少しており、さらなる収納努力により、圧縮に努めていく。



美見みち子議員

問 サテライトオフィス開設等の決算について

答 中心市街地テレワーク施設等プロモーション事業として593万2,000円を支出した。サテライトオフィス・テレワークポータルサイト制作、サテライトオフィスに係る市場調査、首都圏OB人材等ネットワーク構築に向けた取組を行った。



金田稔久議員

問 新型コロナウイルス対策地域商品券発行事業補助金の2億2,175万3,000円について

答 プレミアム率20%のさくらと電子商品券eつやま、飲食店・タクシー・運転代行に使用を限定したプレミアム率30%のうまい券2の3種類を発行した。換金率は99.7%と高く、換金総額の9億5,154万3,201円が地域内を循環したこととなる。



安東伸昭議員

問 津山市のふるさと納税実績について

答 令和3年度の寄附額は、約2億775万円で、1万2,311人から寄附をいただいている。ピオーネ、作州津山ビール等が人気の返礼品である。



私はこう考える！
反対討論



中村聖二郎議員

● 一般会計決算については、個人情報漏えい等につながりかねないマイナンバー関連の予算が含まれていることから決算議案に反対する。

● 国保料が高すぎるため、引き下げが必要である。令和4年度から国の制度として、未就学児、小学校入学前までの子どもの均等割額を5割減額する制度が始まり評価するが、小学校入学から18歳までの子どもは対象から外れたままである。
また、津山市独自でも子どもの保険料均等割額のさらなる軽減に取り組むべきである。

● 介護保険制度について、国の補助率を7割、あるいは8割へ引き上げるべきであると考えます。
また、介護保険料引き上げは認められないと予算にも反対しており、介護保険料引き上げとなった決算にも反対する。

※収入未済額…地方公共団体が歳入を徴収しようとする際に、調定(予定される収入金額を決定する行為)を行ったにもかかわらず、出納閉鎖日の5月末日までに収納されなかった金額。この収納未済金は翌年度に繰り越され、引き続き督促等を行い徴収に努めることとなる。

【決算審査とは】

決算とは市に入った収入や支出の実績です。地方自治法においては、長は決算を議会の認定に付さなければならないとされています。そして、施策や事業の効果や問題点を審査し将来に反映させるなど重要な役割があります。



二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子が見られます。